



■剤型変更のお知らせ（特定個人薬）
デュピクセント皮下注300mgシリンジ → デュピクセント皮下注300mgペン

■当センター採用の糖尿病内服薬(SU薬・速効型インスリン分泌促進薬・DPP-4阻害薬・BG薬)についてまとめました。

分類	SU薬			速効型インスリン分泌促進薬		DPP-4阻害薬			BG薬	
商品名	グリベンクラミド錠 1.25mg (院外専用薬品)	グリミクロン錠 40mg (院外専用薬品)	グリメピリド錠 0.5mg(院外専用薬品)、OD錠 1mg	ミチグリニドCa・ OD錠5mg、 10mg	レパグリニド錠 0.5mg (特定個人薬)	グラクティブ錠 50mg	エクア錠50mg	トラゼンタ錠5mg (注文薬品)	ザファテック錠 100mg (院外専用薬品)	メトホルミン塩酸 塩錠250mg MT
一般名	グリベンクラミド	グリクラジド	グリメピリド	ミチグリニド	レパグリニド	シタグリプチン	ビルダグリプチン	リナグリプチン	トレラグリプチン	メトホルミン
用法・用量 (通常、成人)	1日 1.25mg~2.5mg 1日1回(朝食前or 食後)or 1日2回(朝夕食 前or食後) 最大:1日10mg	開始:1日40mg 維持:1日 40~120mg 1日1回(朝食前or 食後)or 1日2回(朝夕食 前or食後) 最大:1日160mg	開始:1日 0.5~1mg 維持:1日1~4mg 1日1回(朝食前or 食後)or 1日2回(朝夕食 前or食後) 最大:1日6mg	1回10mg 1日3回(毎食直 前)	開始:1回0.25mg 維持:1回 0.25~0.5mg 1日3回(毎食直 前) 最大:1回1mg	1日1回50mg 最大:1日1回 100mg	1回50mg1日2回 (朝夕)or 1回50mg1日1回 (朝)	1日1回5mg	1週間に1回 100mg	開始:1日500mg 維持:1日 750~1,500mg 1日2~3回(食直 前or食後) 最大:1日 2,250mg
特徴	SU薬の中で最も 強力で長時間作 用する。	抗酸化作用、血 小板機能亢進抑 制作用があり、糖 尿病の血管病変 への効果が期待 される。	インスリン分泌促 進作用は弱い、 血糖低下作用は グリベンクラミドと ほぼ同等。	空腹時血糖への 影響が少なく、イン スリン分泌ピーク を早期にシフトさ せ、食後高血糖 を改善。	ミチグリニドよりも、 インスリン分泌を 促進する時間が 長く、血糖降下 作用が大きい。	腎機能を考慮し た4段階の用量 設定が可能。	1日2回投与の DPP-4阻害薬。	ほとんどが未変化 体で糞便中に排 泄される。	連続投与の場合、 最終投与1週間 後にも80%近い DPP-4阻害効果 がある。	主に肝臓での糖 新生を抑制する。 高齢者では肝・腎 機能を確認し、慎 重投与する。
	インスリンの基礎分泌・追加分泌をとともに高める。			インスリンの追加分泌を促進して食 後高血糖を改善。空腹時血糖への 影響が少ない。		血糖依存的にインスリン分泌を増幅。SU薬併用時はSU薬の減量を検討 する。				